

## 早稲田大学 政治経済学部 世界史 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	昨年復活した写真・肖像問題は消滅。また、以前はよく出題されていた地図問題は4年連続で出題されなかった。難易度は昨年にくらべやや易化。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	アジアの大河	A-1は易しい。メソポタミアの都市はティグリス川とユーフラテス川のどちらかに寄っていることは重要。2はバグダードとわかれば簡単。4-ロのイブン=バットゥータ関連も頻出事項。彼がインドに滞在した当時の王朝はトゥグルク朝である。5-ニのルアンプラバンはランサン王国分裂後のルアンプラバン王国の都。6-ニのアンコールワットはヒンドゥー寺院として建立され、後に上座部仏教の寺に改められている。8-ロのサツマイモは新大陸原産ゆえに明初に栽培はあり得ないが、明中期なら正解となる。Bの記述式は易しい。	標準
II	古代エジプト・ローマ・中世の英国・ギリシア	A-1・2は基礎的知識。3の政体循環論は商学部でも出題されている。4-ハのブルグント人はゲルマン人。5のエドワード3世も基礎。B-cのイングランドの先住民はケルト人でもブリトン人でも可。	易
III	17～18世紀の西欧	昨年のIII問は東南アジアの史料問題だったが、今年は独の法学者カール=シュミットの著作『陸と海とー世界史的ー考察』の一部を引用した問題。A-1のロはマドラスが誤りでカリカットが正しい。2-ニは「鎮圧された」が誤り。3-ハはスマトラが誤りでジャワが正しい。4-ハはスペインが誤りでフランスが正しい。5-イは1572年から特定する。6-ニはケベックも含めて英に割譲がただしい。7-ハは「勝利した」が誤り。グスタフ=アドルフは戦死したが、スウェーデン軍は勝利している。Bの記述式は易しい。2のマザランは文学部でも出題されていた。	易

番号	出題内容	コメント	難易度
IV	19世紀の欧米	A-1は宗教別自治を認めたミット制と地方有力者をさすアーヤーンを選ぶ。2-ロのトルストイは青年貴族としてクリミア戦争に従軍し後に『セヴァストーポリ物語』という短編も書いている。3-ニのスイス人実業家デュナンが直接関わったのはイタリア統一戦争で、それに関する著作が『ソルフェリーノの思い出』である。4-ハは「民主党」ではなく「共和党」が正しい。ホの奴隷制度廃止は「補償金を支払う」が正しい。5の年代配列は、dのミズーリ協定が先頭、cの憲法修正第13条が最後とわかると楽。憲法修正第13条は商学部でも出題された。6-ロの蒸気船は米国人フルトンが発明、ハのストックトン～ダーリントン間の鉄道はステーブンソンの機関車が正しい。7はcの1803年とbの1890年がわかると易しい。Bの記述式は基本的なものばかりである。	やや難
V	チャーチルとその時代	A-1のニのダホメ王国は西アフリカ沿岸の黒人王国で19世紀末に仏に征服された。2は「大戦直後」という語句からローザンヌではなくセーヴルを選ぶ。3-ホは「NATO軍事機構から脱退させた」が正しい。4-ニの金本位制停止は恐慌対策としては普遍的。6はロカルノ条約ならブリアンとシュトレゼマン、不戦条約ならケログとブリアンが主要人物だが、両方に中心人物として関わるとなるとブリアンに落ち着く。クーデンホフ＝カレルギーはオーストリアの政治家で1923年に欧州共同体を提案した人物。7-ニはブダペストではなくワルシャワが正しい。8-ハの米大統領はカーターではなくレーガンが正しい。Bの記述式は易しい。	標準

〔総合コメント〕

今年は例年に比べると易しかった。昨年も易しかったので2年連続である。ただ、この学部の問題をさかのぼると難易度の年によるブレが大きいことがわかる。易化傾向が今後も続くという保証は決していない。ある年、突然難しくなる恐れは常にあると覚悟すべきである。今年も地図が出なかったが、これも復活を覚悟しておくべきである。09年・08年と昨年と連続した日本史の出題も今年は無かったが警戒した方がいい。例年出され今年も出ていて、難しいというより面倒なのが年代配列問題である。この種の問題は、似た配列の選択肢を仕分けして二択・三択を繰り返すと意外に簡単である。パターンは毎年おなじなので過去問を通じて対処に慣れておくべきである。また、文章正誤判定の正しい文章に高校レベルを完全に逸脱したものが散見される。こういう部分に気をとられると結局は時間の無駄になってしまう。「これは逸脱している」と直感したら取り合わないことである。どうせみんな知らないのだから差は生じないのである。